

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	特別保育拡充事業		
事業担当	健康・こども部 保育課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③<健康・安心・福祉力>その人らしく安心できる生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	子育て中の保護者、就学前児童	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 民間保育園】		
目的・目標		事業の概要	
子育て中の保護者の多様な保育ニーズに対応し、子育て家庭が支えられています。		多様な保育ニーズに応えるため、一時預かり、特定保育、延長保育、休日保育や病後児保育等を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	実施保育所				単位	か所
	説明・算定式	延べ実施保育所数					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	54	57	57	58		
	実績	51	59	57			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	利用児童数				単位	人
	説明・算定式	延長・特定・一時・休日保育を利用している児童数					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	105000	105500	100000	100100		
	実績	90810	90667	95985			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成24年度の主な取組と成果							
一時保育(16園)、特定保育(7園)、休日保育(1園)、延長保育(33園)等の特別保育を実施したことにより、子育て中の保護者のニーズに応えました。また、病後児保育については実施事業者の施設整備を行うと共に、実施受け入れ要件の協議をしました。							
平成24年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	核家族化の進行、女性の社会進出の増大と就労形態の多様化により、多種多様な保育形態への要請等が高まっており、必要性は高いと思われます。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	一時保育、特定保育、休日保育、延長保育を実施することにより、多様な保育ニーズを満たすことができるため、有効性は高いと思われます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	子育て中の保護者の多様な保育ニーズに対応し、子育て家庭を支えていることから、事業の目的を達成するのに妥当であると考えられます。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	子育て中の保護者の多様な保育ニーズに対応するため、保育施設の安全性の確保、保育士の適正配置等を行うことにより効率性を高めています。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析		病後児保育の実施状況を分析する必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		特別保育の実施	特別保育の実施、病後児保育の検討	特別保育の実施	特別保育の実施、病後児保育の実施
財源内訳	国庫支出金	16,302	14,046	13,024	0
	県支出金	94,507	94,747	87,047	119,448
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	48,954	55,195	76,313	73,552
事業費 (A)		159,763	163,988	176,384	193,000
執行率 (%)		98.69	98.27	100.00	
内訳	職員 (人)	6.05	5.95	6.05	6.15
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		49,967	48,219	48,491	48,881
フルコスト (A+B)		209,730	212,207	224,875	241,881

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針	病後児保育の実施状況の分析の結果を事業に反映させていきます。
課長コメント	多様な保育ニーズに応えるための一時保育、特定保育、延長保育、休日保育については、計画どおり実施できました。今後は、平成25年度に開設した病後児保育の実施状況をみながら、その結果を事業に反映させていきます。